

かしはらし シルバー人材センター かわらばん

NO.117 2023年11-12月号

9月末会員数:522名

(女性:188名・男性:334名)

会員平均年齢75.2歳

発行責任者 間瀬 彰久

編集者 岡本 恵美

(公社) 榎原市シルバー人材センター 〒634-0075 榎原市小房町11番1号(かしはら万葉ホール東側)
TEL0744-26-2560 FAX0744-26-2561

《令和5年10月定例事務連絡会》

令和5年10月4日(水)午前9時30分から中央公民館3F講堂で開催しました。

今回は新型コロナが5類に移行したことにより、会員理事、安全就業対策委員、各職群選抜の会員、49名の出席で開催しました。

初めに、日裏康夫常務理事より挨拶を含め①受注実績をコロナ前に戻すよう、お客様満足度を



向上させる取り組みを推進②全国的にヘルメット未着用による死亡事故が増えておりより一層安全就業の徹底要請がありました。事務連絡事項としては、川端剛史事務局長補佐より①事務所の開所時間は午前8時(開所までの待機は周辺住民から苦情がでないようすること)②作業に関する要望などがあれば各職群リーダー会議で協議し文書で事務



所に提出、事務所から文書で回答する。柴 純子事務局長から①安全就業に関してヘルメット未着用の死亡事故が全シ協集計で多発しておりヘルメットなど安全防具の着用を徹底されたい(榎原SCでの事故発生は7~9月では5件)②インボイス制度が10月から実施され事務費が12%に引き上げるなど諸経費があがっておりお客様から



の問い合わせがあれば適切に説明を

お願いするか詳細については事務所に確認を依頼されたい。阿部真也

事務局長からは10月21日(土)開催の「シルバーの日 ボランティア活動への参加要請がありました。またその他の事項として柴 純子事務局長から前回の事務連絡会以降の報告事項として①家事援助研



修会(8/2・9/6)、清掃就業会員研修会(8/8)、②期間限定(1月~3月)剪定部への参加募集③就業以外での交流活動として事務所裏でミニ菜園に取り組んでいる(活動への参加、苗などの提供の協力要請)の報告がありました。梅崎孝司安全就業対策委員長からは、①10~12月安全就業標語②ミスをなくす③危険予知の取り組みの提起がありました。

会員からは事務所開所時間や駐車場の利用に要望がありましたが、住民からの苦情は市役所と住民の問題となっており事務所としては会員さんの良好なマナーを呼びかけ住民との関係を改善する方向であるなどの意見交換をおこないました。



【見直そう みんなと自分の安全を】

《交通安全・サギ対策講習会》



令和5年10月4日(水)中央公民館3F講堂で「交通安全・サギ対策講習会」を開催しました。交通安全講習会は、**檀原警察署 交通課 赤井課長**を講師に

①県内の交通死亡者11人のうち高齢者は6人②高齢者の道路横断中の事故が多発③自転車に乗るならヘルメット着用④事故発生時のドライブレコーダー画像から事故原因の講習を受けました。また、高齢者の交通安全ワンポイントアドバイスとして「**加齢**

による心身の変化と共に交通安全の注意事項にも変化が起こる」ことを認識し、①目の調子は？

②耳の調子は？③脚力の変化は？④身体の調子は？に気を付け交通安全に心がけましょう。



つづいて、**サギ対策講習**では、**檀原警察署 生活安全課 長谷川係長**から県内特殊詐欺事件が174件内檀原署管内で39件発生しており、特殊詐欺の手口の説明があり、被害に遭わないために①迷惑電話防止機器

を利用する②個人情報や暗証番号を教えない③自治体職員、警察官、金融機関職員が暗証番号を聞くことやキャッシュカードを取りに来ることはありません④電話でお金の話には、一旦電話を切って家族等に確認する⑤未納料金等の支払名目で電子マネーを購入させることはありません⑥ATMでお金が返ってくることはありません⑦現金を宅配便で送ってはいけませんなどの対策を受講しました。



《子育て支援事業講習会》

令和5年8月2日(水)9:00~11:00中央公民館3階講堂で講師に奥村道子管理栄養士をお願いし「こどもの発達と栄養・食物アレルギー」をテーマに22名が受講しました。

1~5歳児の体の発達・発達に応じた食事と栄養、こころの発達と食習慣の講義のあと、健康障害を引き起こす「アレルギーについて」を学びました。アレルギーは、異物が体内に入ってきたときに異物排泄作用が過剰に働くこと

によって、ジンマシンや下痢などの症状がおこることを「アレルギー反応」と言い、場合によっては接触や吸入だけでも発症する場合があります。特にアレルギー症状が、皮膚症状にとどまらず、呼吸器や消化器など複数の臓器に強い症状が現れることをアナフィラキシーと呼ばれ、この状態からさらに血圧低下、意識障害など全身症状が急激に悪化、命にかかわる危険性にいたるアナフィラキシーショックを学び、食物アレルギーの原因となる食物について知識を得ました。



<ご挨拶>

2023年(令和5年)も師走を迎えようとしています。

新型コロナワクチン接種が進み、インフルエンザと同じ扱いとなり日常生活での自粛や予防対策も緩和されました。しかしながら、インフルエンザと同時発症が懸念され、新型コロナの流行は依然続いており安心はできません。今後もコロナ後の社会情勢の動向を注視し、まずはコロナ禍前の受注高事業実績を確保することを目標にウイズコロナでのシルバー事業運営に努めなければなりません。

会員の皆さんには新型コロナ感染予防対策を始めとして健康管理と無事故就業に心がけられ、健やかに新年を迎えられるよう祈念いたしまして年末のご挨拶いたします。

役職員一同